

ARRILASER 2

The Industry Standard in Film Recording

次世代フィルムレコーダー アリレーザ 2



アリレーザー2 次世代フィルムレコーダー

レーザー技術を使う唯一のフィルムレコーダーです。レーザー技術により、画質、生産性、信頼性の点で業界標準となり、デジタル画像のフィルム録画コストを大幅に低減。アメリカ・映画芸術科学アカデミーから認められ、2002年度科学技術賞を受賞しました。

エレクトロニクスとソフトウェアの最近の進歩を取り込み、ユーザーから要求された機能を組み込むために、画像録画ハードウェア、光学系、エレクトロニクスとホストのOSを、かなり大幅に変更しました。アリレーザー2は、16ビット画像バスをサポート、Linuxベースのホストで大幅に改良したソフトウェアを採用、今までにない柔軟な操作性を備え、運用の高速化を可能としました。

最初の登場以来、標準型アリレーザーから5つのモデルが派生し、あらゆるポストプロのビジネスモデルに対応してまいりました。

アリレーザーHD/DIは、拡大する市場と、参入後間もない会社向けのエントリーレベルマシンで、一方スピード・パフォーマンスとスピード2Kは中級機です。最上級機種の高スピード2Kと高スピード・パフォーマンスは、運用スピードや画質で妥協ができないユーザー向けの究極モデルです。

アリレーザー2・モデル一覧

	HD/DI	スピード2K	スピード パフォーマンス	ハイスピード2K	ハイスピード パフォーマンス
スピード仕様	秒/コマ				
HD	34	19	19	09	09
2K 1:1.85	32	1.7	1.7	08	08
2K Fullap	4.1	22	22	1.1	1.1
4K 1:1.85	—	—	29	—	1.3
4K Fullap	—	—	38		1.9
インターミディエイト・フィルム	●	●	●	●	●
カメラネガ	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
2K解像度	●	●	●	●	●
4K解像度	—	—	●	—	●
画像処理	●	●	●	●	●
ARRICUBE カラーマネージメント	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
オプション・モード	HD、ネイティブ・アカデミー、3パーフォ				

モジュールシステムのため、どの機種もアップグレード可能。本冊末尾のアップグレード対照表参照。

最新技術

レーザー光源

半導体レーザーを使用、各原色とも単色性のよい光源。出力減衰は完璧なガウス曲線で、長寿命、小型、低消費電力であり、比類のない高画質のキーとなっています。

各カラーチャンネルの各画素のデータは、光の強度値として音響光学的変調器 AOM に加えられ、それによってレーザー光の輝度を制御します。AOM は各画素のデジタルデータを 17 ナノセカンド以内にレーザー輝度に変換します。

偏向系

アリレーザーの可動部品は、摩耗が最小限となるよう設計。新型空気ベアリングモーターが、動作中全く機械的摩擦を生じることなく、レーザーの偏向に必要なスピードを達成しています。超精密なリニアーステージに固定したフィルム上に、1本1本が書かれて行く。ギアなどの余分な可動部品を使用することなく、ダイレクト磁気誘導ドライブによって、リニアーステージ・モーターが移動します。

カメラとフィルム走行系

新アリレーザーカメラのエレクトロニクスは、CPU パワーが増大したため、カメラとマガジンのモーターをより精密に動作させることが可能となりました。更に、ディスプレイとボタンは機能が拡張、改善されました。

ディスプレイとカメラボタンを使ったアリレーザーの制御は単純化され、カメラとフィルム装填は直感的操作が可能になりました。カメラのボタン2個はソフトキーとなり、設定操作がすべて可能。全段階で、押すと次にどうなるかが表示されます。

オペレータは、マガジンに装填されているフィルムのタイプを指定できます。これらのパラメータを入力すると、マガジン残量が算出可能になり、これをフィートカメーターで表示可能。供給側マガジンの残量が正確に分かるので、フィルムの無駄が減少できます。

最高レベルの設計 高性能

内部エレクトロニクスと処理

新設計のエレクトロニクスにより、内部処理のビットデプスが 10bit から 16bit に変わり、別途ビットデプス変換追加が不要に。

これにより、入力 LUT からデータパス全行程、D/A コンバーターまで、すべての非圧縮 16 ビットデータが処理可能になりました。

汎用の FPG A の採用により、データ処理が改善、画像転送エラーを排除。CANbus プロトコルにより、内部通信と処理の双方がスピードアップ、システム安定性も増加。

アリレーザソフトウェア

アリレーザ新 Trilian インターフェースにより、現行の AL GUI を更新、今までにない操作の柔軟性を保証、日常操作もスピードアップ。Trilian の主な利点は、単一のアプリケーションで複数のアリレーザが運用可能なこと。

ジョブエディター

単一の集中化ジョブデータベースにより、ワンクリックで複数リールの録画が可能。ジョブとキャリブレーションの管理が大幅に簡素化。新ジョブエディターにより、録画ジョブ・アクセスが簡単化、画像処理オプション制御が拡張。

イメージブースター

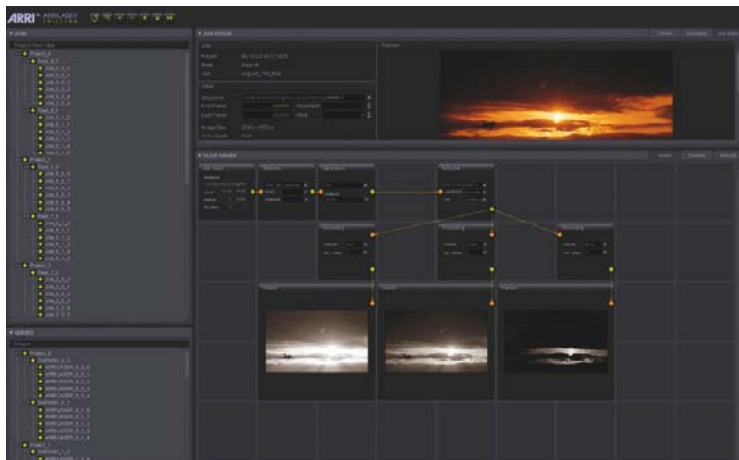
現行のアリレーザ画像処理エンジンは、アリスキャンとD-21 双方で使用しているアリレーザ・イメージブースター・ソフトウェアに置換わります。ホストコンピューターの CPU だけでなく、完全にGPUでレンダリング可能に。

リアルタイム・イメージビューワ

A/B 比較可能な新型イメージビューワにより、画像操作を視覚化し、録画後失敗確認という事態を回避。GPUベース・レンダリングにより、イメージブースターが行うすべての画像処理はリアルタイムで可能です。

ステータスマニター

ステータスマニター等の新ソフトウェアモジュールによって、関係者が各アリレーザの進行状況概要を常に把握可能。ステータスマニターは、単なるHTMLブロードキャストであり、社内ネットワークにアクセスしているどのインターネットブラウザ上でも動作可能なため、アクセスに特別なソフトウェアのインストールは不要です。



オプション：

ARRICUBE クリエーター・ソフト — アリレーザ・カラーマネージメント

単独のソフトウェア・ツール。ユーザー自身で、ビデオをフィルムに録画するためのカスタマイズ 3D LUT 生成が可能。また、ディスプレイ・プロファイルの計測とプリントフィルムのプロファイルから、あらゆる種類のプレビュー、色域外警告、XYZ 空間への変換 LUT も生成することができる

Trilian(トリリアン) 3D LUT ノード — アリレーザ 3D LUT ロード

Trilian への 3D LUT のロードと、録画実行中にクリエイターのビデオ to フィルム 3D LUT の使用が可能になる。ビデオ to フィルム 3D LUT により、フィルム映写の色をビデオモニターの色と完全に一致させることができる。

カメラネガ・モジュール — 撮影用ネガフィルムに録画

カメラ撮影用フィルムへの録画が可能。サポートするフィルムタイプは、下記参照。

HD モジュール — 1 ラインあたり 1920 ピクセルを録画

1 ラインあたりネイティブ 1920 ピクセルの HD 画像を、リスケールなしにアカデミーフレーム一杯に録画するプラグイン。

ネイティブ・アカデミー・モジュール — フルアパチュア画像の録画

ネイティブ・フルアパチュア画像(2048 または 4096 ピクセル)を、リスケールなしにアカデミーフレーム一杯に録画するプラグイン。

3 パーフォ・モジュール — 3 パーフォ録画

3 パーフォ・フォーマット画像を録画

技術データ

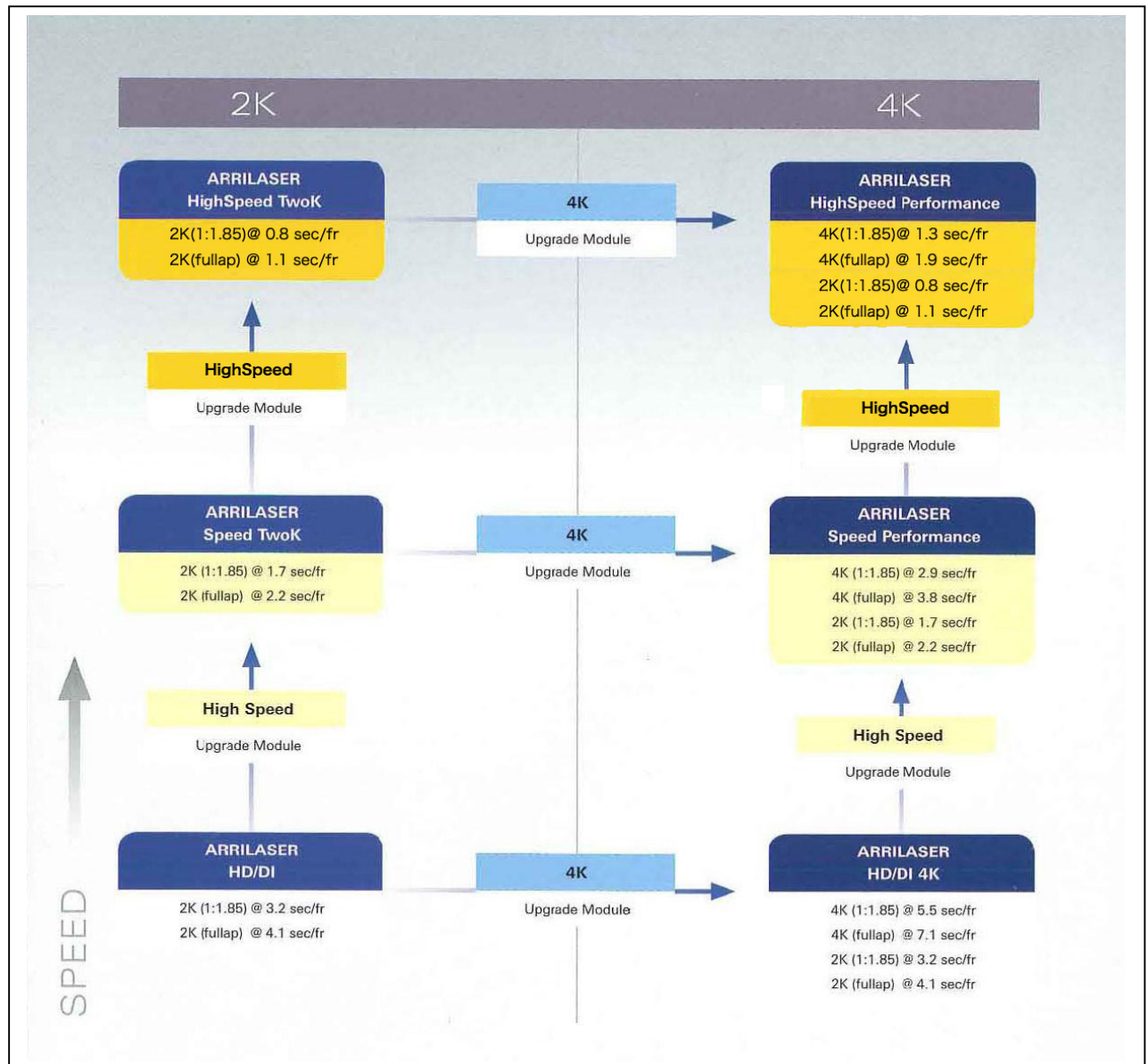
ダイナミックレンジ	インターミディエイトフィルムで、ステータスM濃度 2046(ベース濃度上)
MTF	40% 40lp/mm に於て (水平、垂直とも)
フィルム走行系	2000ft マガジン 供給、巻き取り別
高速送り	10fps
サポート・フィルムタイプ	Kodak Vision カラーインターミディエイト 5242/2242 フジ Eterna-RD18511/4511 Eastman ファイングレイン・デュープバンククロマチックネガ 5234/5366 セパレーション 2238 <オプション>カメラネガ・モジュール必要 Kodak Vision 2 100, Vision 2 50D 5201 フジ 64D 8522, Eterna Vivid 160 8543
ホストコンピューター	Linux RedHat、 G U I、 マシン/ジョブ・データベース付き
ネットワーク・インターフェース	ギガビット・イーサネット、ファイバーチャンネルHBA Dual 4GB 他種応相談
寸法・重量	ARRILASER 2 寸法： 1150x1150x650mm 重量： 約 285kg ARRIAR 寸法： 620x420x670mm (コンプレッサー) 重量： 64kg 騒音： 45db(A)以下
電源	動作電圧： 100~120V 6A/200~240V 3A 消費電力： 1kW 以内 (含ホスト) 周波数： 50/60Hz
動作環境	室温： 19~24°C 相対湿度： 20~75%(結露なきこと)
レーザー	レーザー製品 Class 1 IEC60825-1, EN 60825-1:2007 21 CFR 1040.106 1040.11 準拠製品
安全認定	検査実施の結果、ITE A 級認定 EN-60950-1:2006 準拠 FDA レーザー製品性能標準に準拠。レーザー固有の変動は除く。 通知 No.50(2007.6.24)

モジュラー設計

どのモデルもアップグレード可能：

完全なモジュール設計のため、シリーズの全モデルがアップグレード可能。ユーザーは、業務の配分が変わった時に必要に応じてレコーダーをアップデートでき、有効な投資が可能です。

どのモデルも定評の画質、性能、信頼性は共通。録画スピードと最大解像度に違いがあるのみ。全機種とも、どのオプションでも追加可能です。



※ 製品の仕様、外観は予告なしに変更することがあります

ISO 9001 認証取得



株式会社 **ナックイメージテクノロジー**
 映像制作営業 ダイヤルイン：03-3796-7901
<http://www.nacinc.jp>

本社 〒107-0061 東京都港区北青山 2-11-3 : 03-3796-7900
 大阪 〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-2-1 : 06-6359-8110
 名古屋 〒464-0075 名古屋市中千種区内山 3-8-10 : 052-733-7955
 九州 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-6-12 : 092-477-3402